

地域脱炭素フォーラム2025 in 神戸

～地域脱炭素2.0に向けた官民連携の更なる強化～



神戸市脱炭素先行地域「ポートアイランド医療産業都市エリア」
写真提供:神戸市

Program

- 14:00 開会挨拶 勝目 康 環境大臣政務官
- 14:05 挨拶 久元 喜造 氏 兵庫県神戸市長
- 14:10 講演 「地域脱炭素のさらなる前進のための連携戦略」
諸富 徹 氏 京都大学 公共政策大学院 教授
- 14:25 講演 「近年の異常気象と気候の変化
～脱炭素社会の重要性～」
井田 寛子 氏 気象予報士・キャスター
- 14:35 パネルディスカッション① 「脱炭素と地域課題の同時解決に向けて」
ファシリテーター 諸富 徹 氏 京都大学 公共政策大学院 教授
パネリスト 久元 喜造 氏 兵庫県神戸市長
岡田 憲和 氏 京都府京都市副市長
西村 良平 氏 京都府南丹市長
小紫 雅史 氏 奈良県生駒市長
- 15:30 パネルディスカッション② 「脱炭素と地域経済成長の同時実現に向けて」
ファシリテーター 井田 寛子 氏 気象予報士・キャスター
パネリスト 乾 正博 氏 シン・エナジー株式会社 代表取締役社長
植田 信一 氏 大阪ガス株式会社 常務執行役員 エナジーソリューション事業部長
榊田 隆之 氏 京都信用金庫 理事長
上戸 健司 氏 阪神電気鉄道株式会社 常務取締役 スポーツ・エンタテインメント事業本部長
- 16:25 閉会

2025 SUN
5.25
14:00-16:30

神戸国際会議場
国際会議室301
兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1



参加費

無料

定員:会場参加300名

来場・WEB共に事前申込制

申込締切

2025
5.22 THU



脱炭素地域づくり
支援サイト



お問合せ

地域脱炭素フォーラム事務局 (株式会社ツクルス内)
MAIL: chiikidatsutanso-forum@itto.co

主催



協力

神戸市、京都市、南丹市、生駒市

地域脱炭素フォーラム2025 in 神戸

～地域脱炭素2.0に向けた官民連携の更なる強化～



PROFILE

登壇者プロフィール 一覧



勝目 康

環境大臣政務官

昭和49年京都市生まれ。東京大学法学部卒業。平成9年に自衛省入省。在フランス日本国大使館一等書記官、内閣官房副長官秘書官、京都府総務部長、総務省地域振興室長等を経て、令和3年より衆議院議員(京都府第1区)。令和6年10月より環境大臣政務官に就任し、サーキュラーエコノミー、水・大気環境の保全、福島環境再生等を担当。



諸富 徹氏

京都大学 公共政策大学院 教授

1968年生まれ。1998年京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。1998年横浜国立大学経済学部助教授、2002年京都大学大学院経済学研究科助教授、2006年同公共政策大学院助教授、2008年同大学院経済学研究科准教授を経て、2010年3月から同研究科教授(現在に至る)。2017年4月より、京都大学大学院地球環境学堂教授を併任(2022年3月まで)。2021年4月より、京都大学教育研究評議会評議員および経済学研究科副研究科長(2023年3月まで)。2025年4月より、京都大学公共政策大学院教授。



井田 寛子氏

気象予報士・キャスター

埼玉県春日部市生まれ。春日部親善大使。筑波大学第一学群自然科学類化学科卒業後、製薬会社を経てNHK・TBS等メディアを中心に活動。2014年ニューヨークで開かれた国連気候サミットへの参加をきっかけに気候変動問題に関心を持ち、学びや発信を続ける。2023年東京大学大学院広域科学専攻修士課程修了。メディアの気候変動コミュニケーションについて研究。現在NPO気象キャスターネットワーク理事長・WWFジャパン顧問。気候変動や防災に関する講演会等で活動中。環境・食・体の3つのバランスの大切さを感じ、全米ヨガアライアンスインストラクターや野菜ソムリエを取得。



久元 喜造氏

兵庫県神戸市長

1976年3月東京大学法学部卒業。同年、旧自治省に入省後、同省、消防庁、旧国土庁、内閣官房のほか、石川県、青森県、京都府、札幌市の各地方自治体で勤務。総務省の自治行政局行政課長など各課長、大臣官房審議官(地方行政・地方公務員制度、選挙担当)、選挙部長を歴任した後2008年7月から2012年9月まで自治行政局長。2012年11月神戸市副市長。2013年10月市長選挙で初当選。現在3期目。



岡田 憲和氏

京都府京都市副市長

立命館大学経済学部卒。昭和56年4月京都市入庁。環境局環境政策部地球環境政策課長在任時には、地球温暖化対策に特化した条例として全国初となる京都市地球温暖化対策条例の制定に携わる。その後、環境局環境企画部長、市長公室長、総合企画局長を歴任。平成28年4月より京都市副市長に就任し、現在に至る。現在も環境分野を担当しており、脱炭素先行地域など先進的な取組を推進。



西村 良平氏

京都府南丹市長

1953年生まれ。京都大学農学部、京都大学教育学部を卒業後、昭和53年4月旧八木町役場に入職。企画、福祉、企業誘致、都市計画、観光、総務の担当課長などを経て、南丹市発足後は地域総務課長、市民部長を歴任。平成30年4月南丹市長に就任。現在2期目。



小紫 雅史氏

奈良県生駒市長

1974年生まれ。一橋大学卒業後、1997年環境庁(現環境省)入省。ハイブリッド自動車のグリーン税制などに従事したほか、外交官として、米国防務省の日本国大使館に勤務。2011年8月全国公募により生駒市副市長に就任し、2015年4月から生駒市長に就任(現在3期目)。「まちづくりはひとつづくり」の方針の下、市民と行政が汗をかく「自治体3.0」のまちづくり、「みんなで創る!日本一楽しく住みやすいまち『いこま』」の実現に向けて奮闘中。



乾 正博氏

シン・エナジー株式会社 代表取締役社長

1993年太陽電機エンジニアリング(現シン・エナジー(株))の立ち上げに参画。阪神淡路大震災、京都議定書、東日本大震災などを通じ、エネルギーを扱う企業として「未来の子どもたち」へ果たすべき責任と使命感を抱く。2015年2月に代表取締役社長就任。2018年4月にはシン・エナジー(株)に社名を変更し、全国で再生可能エネルギー開発事業と新電力事業を展開。現在、社会福祉法人神戸老人ホーム評議員、一般社団法人日本サステイナブルコミュニティ協会副代表理事、一般社団法人共生エネルギー社会実装研究所理事を兼務。



植田 信一氏

大阪ガス株式会社 常務執行役員
エネルギーソリューション事業部長

1990年大阪ガスに入社。企画部門、マーケティング部門、ネットワーク部門など幅広い業務に携わり、2021年に執行役員に就任。2024年4月より現職。阪神淡路大震災や天然ガス転換など会社の大きな変革期を乗り越えた経験を活かし、気候変動という大きな社会課題に対して当社のソリューションを活かしたカーボンニュートラルへの挑戦の推進役を担っている。



榎田 隆之氏

京都信用金庫 理事長

上智大学外国語学部を卒業後、日本輸出入銀行(現 国際協力銀行)勤務を経て、1985年に京都信用金庫入社。2018年に理事長就任。徹底的な対話型経営により「日本一コミュニケーションが豊かな会社」を目指す。1971年に「コミュニティ・バンク」を世に提唱した金融機関の理事長として、地域の経済や文化の形成への思いを込める。こころ豊かな地域社会、コミュニティをつくるのがライフワーク。



上戸 健司氏

阪神電気鉄道株式会社 常務取締役
スポーツ・エンタテインメント事業本部長

1988年阪神電気鉄道に入社。同社経営企画室室長ならびに阪急阪神ホールディングス総務部長(兼務)から、阪神電気鉄道取締役、阪急阪神ホールディングス執行役員を経て2025年4月に阪神電気鉄道の常務取締役に就任。阪神タイガース・阪神甲子園球場での野球事業、ビルボードブランドによる音楽事業、神戸・六甲山での観光事業、等の阪急阪神のスポーツ・エンタテインメント事業を担当。